



真生会白百合ベビーホーム便り 明るく、楽しく、元気よく

日本カトリック児童施設協会全国会議に参加しました。私にとって、毎年法人の理念について、じっくりと考える旅になっています。「慰め (con-solatio)」とは、ギリシャ語では、独りである人とともにあること。それ故、苦しむ人の苦しみを受け入れて、自分の苦しみとすること。子どもの心は、日常の中で、簡単にあしらわれてしまいがちです。心の奥を貫く精神の存在を知る私たちが、呼びかけに応え続けることを通して、未来ある子どもが育っていくのだろうと感じました。私たちの日常を支える実用的な知識、スキルに加えて、各人が大切にするもう一つのものを尊重し、日々の実践に向かいたいものです。

社会福祉法人真生会 白百合ベビーホーム 理事長／院長 青木紀久代

クッキング～混ぜる～



4月と5月のクッキングテーマは「混ぜる」です。

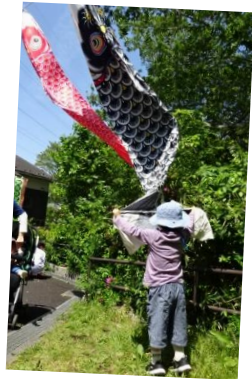
今回は「納豆」を作りました。材料は人参やほうれん草、もやしなど春らしい色とりどりの具材の中から、好きなものを選びます。好きな野菜を自分で入れて、まぜまぜまぜ。

納豆が大好きな子どもたち。白く泡立つまで混ぜて、タレを入れたらまたよくかき混ぜます。納豆の美味しい食べ方をよく知っています。出来上がったらみんなの白ご飯の上に上手によそってくれました。味や色、香りを感じ五感を刺激することで、健康な心を育てます。

5月 各ユニットの様子

【たんぽぽ・すずらん】

こどもの日に向けてこいのぼりの製作をしました。画用紙に絵の具をちょんちょんと落としたり半分に折って、手でアイロンをかけます。画用紙を開いた時のきれいな模様「わあ！」と嬉しそうに笑う子どもたち。模様をうろこに見立てて、こいのぼりを作りましたが、色合いやダイナミックさなど、それぞれの味が出ています。公園やテラスにあげられたこいのぼりを見ながら「こいのぼり」の歌を自然に口ずさんでいる子どもたちです。



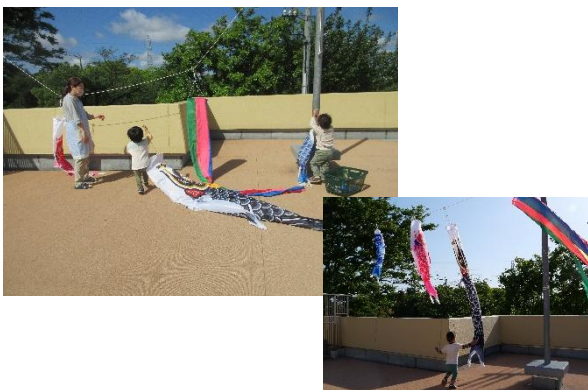
【ひまわり・なのはな】

戸外の活動が心地良い季節になりました。満開のつつじを見て「きれいだね。」においをかいで「お花のいいにおいがするね。」と五感をたくさん使って季節を感じています。あるお天気のいい日に「今日は何をしたい？」と聞くと「消防車見に行きたい！」と車好きなお兄さんたち。距離もあり、歩くのは大変ですが自分たちで行き先を決めて目的を持って力強く歩く姿に成長を感じます。いつもは出動中のことが多い救急車が！いつも遊んでいるトミカと同じ車が目の前に…みんな大興奮でした。これからも色々なことを体験する機会を作って過ごしていきたいと思います。



【あさがお・すみれ】

こどもの日に向けて、天気がいい日はこいのぼりを取り付けて上へと上げるのを子どもたちも一緒に行いました。こいのぼりが風できれいに泳いでいると大はしゃぎで「泳いでる〜！」と喜び、絡まってしまうと心配し、日に日に愛着が湧いている様子でした。こどもの日が過ぎててもこいのぼりの歌を毎日のように歌い、まだまだ余韻を楽しんでいる子どもたちです。



【もも・あんず】

こどもの日に向けてこいのぼりの制作をしました。クレヨンや絵の具を使って、模造紙に色をのせていきます。手や足に絵の具がつくのも気にせず、ダイナミックに描いていました。「屋根より高いこいのぼり〜♪」と、大好きな歌を楽しんだり、風にはためくこいのぼりを日々見上げるうちに、「こいのぼり」がどんどん身近になった子どもたち。こどもの日の会当日も、素敵な演奏にのせた“こいのぼり”の歌を楽しみました。会が終わった後は、買ってきた菖蒲を「はっぱ〜！」と手にしながら菖蒲湯に入っていた子どもたちです。



こどもの日



5月5日、さわやかな青空の下、てくてく広場にて『こどもの日の会』を行いました。会場には4月のアートプログラムで小市先生と製作した大きなこいのぼりや子どもたちが作った可愛いこいのぼり、みんなでうろこを貼って育ててきた段ボールこいのぼりを飾り、子どもたちの健やかな成長を願ってみんなで会を楽しみました。

職員が演奏するこいのぼりの歌に合わせて、手作りのマラカスを鳴らしながら身体を動かす1歳児、自分からステージ側に回り、青木院長と一緒にマイクで挨拶をする2歳児、「こいのぼり、元気に泳いでるね」と春風に吹かれてなびくこいのぼりを嬉しそうに見上げる3歳児。子どもたちの姿を見ながら大人もほっこりした気持ちで過ごしました。

お昼は、調理さんが目の前で作ってくれた焼きそばに、子どもたちが味付けのお手伝いをしてくれ、お弁当と一緒においしく頂きました。

新年度になって初めての行事となるこどもの日。ユニット異動した子どもは前のユニットの子どもや職員との再会を喜んだり、新人職員や他部門の職員とユニットを超えた楽しい交流の場にもなりました。



土の恵みプロジェクト

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
畑	春野菜		夏野菜								春野菜	
ポタジェ	いちご						冬野菜			いちご		
てくてくひろば	さつま芋											
パーク庭	梅		(収穫)		(施肥)				(収穫)			
	みかん				(施肥)							
	柿							(収穫)				
	いちじく		(収穫)		(施肥)							
すくすくテラス	春野菜		夏野菜				冬野菜				春野菜	
	いちご								いちご			
プランター			花苗購入、 植え替え①				花苗購入、 植え替え②			●	花苗購入、 植え替え③	
ミーティング	4月10日	5月22日	6月26日	7月24日	8月7日	9月25日	10月23日	11月27日	12月18日	1月29日	2月26日	3月19日

土の恵みプロジェクトでは、真生会
の子どもたちとメンバーと一緒に、
敷地内にある畑やテラスで様々な野
菜を育てたり、「こども食堂」などを
企画実施して、土に親しみみんなで
楽しむ取り組みを行っています。今
年もたくさんの笑顔の輪を広げてい
けたらいいと思っています。

今は夏野菜のなす、きゅうり、パ
プリカ、とうもろこし、オクラを
育てています。今年はすいかにも
挑戦中です！

職員紹介～総務部門～

家庭支援専門相談員

里親支援専門相談員



写真左から家庭支援専門相談員の
熊谷、立野、山本と
里親支援専門相談員の佐藤です。

心理療法担当職員



写真左から心理療法担当職員の
林、村上、王です。

環境

親子のひろば



写真前列左から事務の小澤、事務
長寺田、事務佐藤と後列左から環
境の室井、親子のひろば守です。

今年度は異動してきた職員や育休から復帰した職員も迎え
て、新たなチームでスタートしています。それぞれの専門性
を活かし、チーム一丸となって子どもたちの成長に寄り添っ
ていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

6月の予定

- 3日 ダンスプログラム
- 11日 リトミック
- 19日 コンサートリーディング
- 26日 防災訓練
- 28日 おはなしの会
- 30日 アートプログラム

今月の絵本

おさんぽおさんぽ

作：ひろのたかこ

福音館書店

どろんどろんこ！

文：わたなべしげお

絵：おおももやすお

福音館書店

発行元 横浜市泉区中田東 1-41-3
社会福祉法人真生会
白百合ベビーホーム
責任者 院長 青木 紀久代
電話 045-803-0398